

卒業生からのメッセージ

JETOみやぎの支援が終了した、卒業生からメッセージを頂いております。
その中のほんの一部をご紹介します。

【今の生活で感じていること】24 歳 男性

皆様の御支援・励ましのおかげで高校卒業後、念願のトヨタ自動車へ就職しました。家庭を持ち、子供も二人生まれました。これからも前を向いて一生懸命生きていきます。本当にありがとうございました。

【今の生活で感じていること】23 歳 男性

さすがに 8 年経てば生活も落ち着き、新しい環境にも慣れてきました。経済的な面も何ら問題なく過ごせています。自分は震災で父親が亡くなり、両親が居なくなってしまうましたが、祖母や親戚、特に叔母の助けもあって今の生活があると思っています。未だに頼ってしまう事も多いので、早く 1 人で何でもできる人間になれるように頑張りたいと思います。これから働いて経済的に余裕ができてきたら、今度は自分が支援する立場になると思います。

【今の生活で感じていること】24 歳・女性

何年、経とうとも震災当時と気持ちは変わりません。



保護者の方からのメッセージ

感謝のお言葉をいただきました。一部を抜粋して掲載いたします。

【伯母・Sさん】

皆様のご支援に感謝申し上げます。昨年の 4 月から社会人として頑張っています。障害という事もあり、心配ですが仕事に行く事が楽しいようです。仕事も少しずつですができる事が増えて来ました。社会人とはいえ、まだまだですが、本人の頑張りをこれからも応援したいと思います。

【祖父・Cさん】

震災からもう 7 年も過ぎたのかと思う気持ちと、まだ 7 年かと思う気持ちが入り混じっています。中学 2 年まで自宅に孫を預かりました。JETOみやぎ様をはじめとして多方面からの励ましの言葉やご支援をいただきながら、本人の望む高校や短大と、あこがれの職業に就くことが出来ガンバッテます。自宅を出て 1 人暮らしをしておりますが、ヤレヤレと思う気持ちと大丈夫かなと思う気持ちです。日々復興に向かって歩んでおりますが、震災後の都市計画で立ち退きを余儀なくされて引っ越し先を考えますとストレスが感じられます。あの時なぞ娘を助けてあげられなかったのかと思うと涙がこぼれます。震災さえなければと日々思い暮します。

【伯母・Kさん】

震災から 7 年が過ぎ一昨年の 3 月には待ちに待った復興住宅に入れ漸く生活が皆様のお陰で落ち着きました。甥と 2 人で病氣もせず元気度居られる事大変ありがたい事と思っています。無遅刻、無欠席で 1 学年を過ぎようとしております。ご支援本当に有難うございます。

ご支援のお願い



JETOみやぎの活動は、すべて皆さまからのご寄付・賛助によって成り立っています。

活動の推進を円滑に行い、目的を達成するためにも皆さまには、JETOみやぎの活動にご理解とご賛同をいただき、活動への末永いご支援をお願い申し上げます。

ご寄付（税法上「特定寄付金」扱い）

ご寄付……………1 口 1,000 円より

JETOみやぎよりニュースレターを郵送いたします。

※JETOみやぎは、仙台市より「認定NPO法人」としての認定を受けています。これにより、JETOみやぎにご寄付をいただいた場合、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。なお、税制上の優遇措置を受けるには、JETOみやぎ発行の寄付金受領証明書が必要です。

賛助会員

個人……………年・1 口 10,000 円より

法人……………年・1 口 10,000 円より 1 口よりご賛助頂けます。

※賛助会員について

JETOみやぎの趣旨にご賛同いただき、震災孤児への継続的な長期支援を頂ける個人や法人の方が対象です。賛助会員様には事務局が発行するニュースレターの郵送や、決算・活動報告会のご案内をしています。

お振込先

七十七銀行 卸町支店
普通口座 5786851
NPO法人 JETOみやぎ
(エヌピーオーハウジングジェットミヤギ)
※ お振込手数料はご負担ください。

【寄付金受領証明書をご郵送いたします】
銀行よりお振込みいただいた際は、恐れ入りますが JETO みやぎへお電話でご住所をお知らせいただきますようお願いいたします。

《郵便振替口座》

特定非営利活動法人ジェットみやぎ
02250-8-135678

※ 寄付金受領証明書をご郵送いたします。

お問い合わせ

電話：022-782-0303 FAX:022-783-6116
メール：info@jeto-miyagi.org
ホームページ：http://jeto-miyagi.org/

JETOみやぎ事務局より

震災から 7 年が経ち、90 名いた子供たちも 33 名が卒業し、現在は 57 名となりました。結婚して子供を授

かり、新しい家族を持った方も増えてきております。子供たちの未来をしっかりと描き、保護者の高齢化に伴う課題を解決していくことがこれからの JETOみやぎの役割であると強く感じております。まだ 12 年続く長期的な支援のなかで、子どもたちが育っていく環境づくりを行ってまいります。



発行元：認定特定非営利活動法人 JETOみやぎ
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2-5-4
TEL:022-782-0303 FAX:022-783-6116

JETOみやぎ NEWS vol.12

2018 年夏号



皆様のご支援により、第 7 期目となる 2017 年度の「東日本大震災・津波 生活・教育支援金」の給付を行いました。今期は 57 名の子供たちに 20 万円を支給いたしました。内訳は 19 才以下が 52 名、20 才以上で引き続き支援を希望する学生 5 名の支援となりました。

また、今年は東日本大震災から 7 年が経過し、一つの区切りとして 2018 年 3 月 10 日の河北新報朝刊に子供たちからのメッセージと、これからの JETOみやぎについて掲載させていただきました。

子どもたちがこれからも学び、保護者と共にしっかりと生活ができる環境をつくるために、地元の行政や教育機関とも連携を取りながら、長期にわたって活動を行います。現在支援をしている中で、最も年齢の低い 8 才の子供が 20 才になるまで、あと 12 年の支援が必要となります。

震災の風化が進みますが、JETOみやぎはこれからも息の長い支援を続けてまいります。

認定特定非営利活動法人 JETOみやぎ
理事長 菅原裕典



2017 年度の活動トピックス

JETOみやぎ理事会を開催しました

2018 年 3 月 5 日(月) JETOみやぎ理事会を開催いたしました。収支状況中間報告や、生活・教育支援金の支給について話し合いました。



河北新報にメッセージを掲載しました



2018 年 3 月 10 日(土) 河北新報 朝刊に、JETOみやぎの記事を掲載いたしました。JETOみやぎでは、これまでにたくさんの皆様からお支え頂き、7 年間で無事に運営することが出来ました。設立時に 90 名の孤児がおりましたが、うち 38 名が 20 歳を迎え、就職や結婚などそれぞれの道を歩んでおります。

JETOみやぎでは、子供たちからのメッセージを、これまでに支援していただいた皆様にお伝えしたいと考え、今回掲載させていただきました。

子どもたちからのメッセージ

子どもたちの今の気持ち、想いをメッセージで頂いております。
その中のほんの一部をご紹介します。

【伝えたいこと】短大 3 年生・女子

いつもありがとうございます。周りの方々のおかげで自分があると思っています。希望を持って生きることができています。

【嬉しかったこと】高校 3 年生・女子

文化祭でクラスの団結力がすごくうれしかった。

【始めたこと】高校 3 年生・男子

ここ最近ではありますが、バスを使って通学をしています。自分の住んでいる地域にはない魅力が多くある事に気づき、通学することの良さを知りました。

【頑張っていること】高校 3 年生・男子

学校生活全般ですが、部活では 1 年生の手下になるような心がけています。勉強では苦手な教科にも力をいれて勉強しています。

【伝えたいこと】大学 2 年生・男子

皆様からの支援無しには今の私の生活は成り立ちません。支援にえられるような大人になるためにも、勉学に励み、有意義な生活を心掛けていきたいです。

【嬉しかったこと】高校 2 年生・男子

友達がいっぱいできた。



【始めたこと】大学 2 年生・女子

昨年、アルバイトを始めました。多くの方と接する中で、将来の夢である看護職につながる貴重な経験をさせていただいています。

【嬉しかったこと】中学 1 年生・男子

前よりも友達と仲良くなって、友達もふえたのが嬉しかったです。

【始めたこと】高校 2 年生・女子

積極的にイベントやボランティアに参加しています。

【伝えたいこと】中学 3 年生・女子

不自由なく毎日過ごさせてもらってありがたいです。来年は受験なので、充実した 1 年にしたいと思います。

【伝えたいこと】大学 2 年生・女子

将来に向けて様々な役に立つことを吸収しています。立派な社会人になるために頑張っていますので応援をお願いします。

【始めたこと】中学 3 年生・女子

たくさんの人前で話したり、自分の意見を発表したりできるようになった。



皆様からのご寄付・ご支援

2017年度(5月1日～4月30日)にご支援頂いたチャリティー活動・ご寄付の一部をご紹介します。

＝ この他のチャリティー報告詳細はJETOみやぎのホームページをご参照下さい。

6月3日 鹿児島第一ライオンズクラブ 様

2月10日、鹿児島県鹿児島市にごいます、「鹿児島サンロイヤルホテル」を会場に「第30回 ファンタジックパーティー」が開催され、皆様からいただきましたご寄付をお持ちいただきました。6年という年月が経過していますが、まだまだ未永い支援をしていく必要があり、これからも毎年協力していきたいという力強いメッセージをいただきました。



6月4日 寺フェス 様

石巻市にごいます、金蔵寺様にて寺フェスが開催されました。「寺フェス」は東日本大震災からの復興を願い、寺の境内でステージパフォーマンスを繰り広げて地域を盛り上げることを目的に毎年開催されており、今年で3回目の開催となりました。ご当地グルメの石巻焼きそば、フリーマーケットなど約30のブースが並び、山門前に設けるステージでは和太鼓やバンドの演奏が披露されました。また、ストリートダンスやフラダンスのグループも登場し、華やかな踊りで会場を活気づける盛大なフェスとなりました。



8月8日 タケトイズ (Taketo.is) 様

北海道札幌市にごいます、タケトイズ (hair&face TAKETO.is) 様にて、チャリティカットが行われました。今回は『Taketo is』、『みかん』、『ヘアサロンミスト (MIST)』の3店で共同開催となり、0歳から小学校6年生までの子供たちを対象に、1人500円でカット・シャンプー・ブローまでを行いました。また、今年は身体の不自由な方の児童施設「あすなろ」様への訪問チャリティカットも同時開催いたしました。第7回目となる今回は296名とたくさんのお子様の髪をカットし、イベントで集まったカット料全額と、ネイルサロンメイプル様や、募金箱で集まったチャリティをご寄附いただきました。スタイリストの皆様お疲れ様でした。



9月25日 東北ブロック浄土宗青年会 様

震災の月命日にあたる9月11日に、山形県山形市内に於いて「東北ブロック浄土宗青年会チャリティスポーツ大会」が開催されました。第1回目となる今回は東北6教区と東京教区対抗のソフトボール大会が行われ、50名を超える参加者、また6チーム対抗の熱戦の中、山形教区様が見事優勝されました。大会の参加費の一部を、JETOみやぎにご寄附いただきました。



9月30日 エビデリ 様

福岡県福岡市にごいます。リンパ・筋腫専門サロン&スクール『epi de riz (エビデリ)』のエナジャインゴナーセラピスト福永順子様より、サロンに設置の募金箱にて集まったチャリティをご寄附いただきました。エビデリを訪れるお客様の中には定期的に募金をされるお客様もいらっしゃるというお話をお聞きし、また今後も継続的に支援をしたいとの温かいお言葉もいただきました。



10月17日 橋企画 様

9月4日、太白文化センターを会場に「2017中村文昭講演会」が開催されました。毎年恒例の中村文昭講演会、今年は12年連続13回目の講演会となります。会場は超満員となり、笑い声が溢れる大盛況の講演会となりました。昨年、一昨年に続き今年で3回目のご寄付となり、橋企画様からは、継続的にJETOみやぎを支援していただいております。主催である「橋企画」エバンジェリストの橋篠昭様にお越しいただき、収益の一部をJETOみやぎへご寄附いただきました。



10月30日 清月記杯パークゴルフ仙台大会 様

おおひら万葉パークゴルフ場にて、清月記杯パークゴルフ仙台大会が開催されました。昨年から、石巻大会と仙台大会に分けての開催となり、仙台大会には338名の方々にご参加いただきました。当日は、JETOみやぎへの贈呈式の場を設けていただき、参加費全額をご寄附いただきました。



11月3日 エトワールバレエ館 様

広瀬文化センターを会場に、エトワールバレエ館様主催の「第22回ガラ・コンサート」が開催されました。今年の発表会は生徒さんが原案を作り教師の方々が振付をした、オリジナル作品の上演となりました。会場は多くの観客の方で満席となり、とても賑わっておりまして、会場にはJETOみやぎのブースも設けていただき、募金箱やニュースレターを設置していただきました。



11月4日 清月記杯パークゴルフ石巻大会 様

石巻市かなんパークゴルフ場にて、清月記杯パークゴルフ石巻大会が開催されました。参加者187名の皆様は元気はつらつとプレーをされており、怪我もなく無事に終えることができました。JETOみやぎへの贈呈式の場を設けていただき、参加費全額をご寄附いただきました。



11月7日 宮城野雅楽会 様

仙台迎賓館 斎苑を会場に、宮城野雅楽会設立20周年記念「雅楽演奏会」～古き良き日本の伝統文化～が開催されました。会場を埋め尽くすほどの多くのお客様が来臨し、伝統的な音楽を楽しんでくださいました。会場にはJETOみやぎのブースも設置させていただき、募金箱には多くの皆様から温かいチャリティをいただきました。



11月11日 林泉寺 様

泉区実沢にごいます「林泉寺」様にて「伽藍DEコンサート」が開催されました。地域の皆様には日頃の感謝を込め、お寺へ憩いの場所として気軽に来て頂くために開催されたのが始まりです。今年で、第13回を迎え、200名を超えるお客様が山台フィルハーモニー管弦楽団メンバーの奏でる素晴らしい音色に聞き入っていました。参加費の全額と、当日の募金箱で集まったチャリティをご寄附いただきました。



12月9日 S=WINDLE 様

仙台で有名な、氷室京介さんのコピーバンド「S=WINDLE (スウィンドル)」様にお越しいただきました。11月17日にFLYING SON (宮城野区榴岡) にてFor the next generation SAVE THE CHILDREN vol.3が開催され、集まった入場料の全額をチャリティいただきました。LIVEを通して東日本大震災により被害を受けた震災孤児を支援したい・・・自分たちも震災の記憶を忘れないように・・・という想いで始めたチャリティイベントは今年で3回目の開催となり、JETOみやぎにも3回目のご寄付となりました。長期にわたりご支援を頂いており、とても感謝しております。



12月28日 高進商事株式会社 様

アマゾンや楽天市場でも販売している、いのちを守る防災ボックスとして有名な「THE SECOND AID」の製造元である、高進商事株式会社様より、チャリティをいただきました。「THE SECOND AID」は、東日本大震災後の経験から生まれた、コンパクトでスタイリッシュな防災セットで、自宅に置いておくことで、地震時の「自宅避難」をサポートする。据置き時の食糧糧と防災グッズです。毎年「THE SECOND AID」の売り上げの一部をJETOみやぎにご寄附いただいております。今年も高進商事株式会社代表取締役 小田原弘様にお越しいただきご寄付をいただきました。



1月10日 アール・フランセ 様

アールフランセ様では、仙台市内の4つのホテル、ダイワロイネットホテル仙台北、ホテルモントレ仙台北、三井ガーデンホテル仙台北、仙台フントントホテル様と連携し、復興へのエールを七塔飾りの短冊に託すチャリティイベント「絆の七塔プロジェクト」を実施し、宿泊者の皆様からいただいた募金をJETOみやぎにご寄附いただきました。



3月6日 宮城教区浄土宗青年会 様

東日本大震災からまる7年ということで、宮城と東京の浄土宗青年会の皆様18名が仙台市内で鉢鉢(たくはつ)を行いました。強風のなか、たくさんの方々にご支援をいただき、集まったお金をJETOみやぎにご寄附いただきました。



3月8日 仙台南高等学校 様

2017年9月8日～9日、太白区八木山にごいます、仙台南高等学校様にて『城南フェスティバル』が開催されました。このイベントは8日が校内発表、9日が一般公開となり、Jフェス実行委員と生徒会を中心に運営し、様々な催し物のほか、各種模擬店も出されました。当日は天気にも恵まれ、1,347名のお客様が来場し、過去最大の盛り上がりとなりました。昨年に引き続き、今年もJフェスでの収益金をご寄附いただきました。また、生徒の皆さんより、これからも継続してJETOみやぎを支援したいと温かいお言葉をいただきました。



3月8日 みやぎ生協・株式会社サイコー 様

2月11日～2月28日の期間中、みやぎ生協様の34店舗に設置してある「古紙リサイクルポイントシステム」にて集まった古紙1kgあたり2円(みやぎ生協様1円/kg、株式会社サイコー様1円/kg)をJETOみやぎへ寄附し、震災孤児への支援につなげようというイベントが開催されました。イベント期間中には5,285kgの古紙が集まりました。みやぎ生協ならびに生協メンバーの皆様、サイコー様の協力に感謝申し上げます。また、同イベントは今年で3回目の開催となり、毎年とても大きなご支援を頂いております。



3月11日 伊佐チャリティ音楽祭 様

鹿児島県伊佐市にごいます。大口ふれあいセンターを会場に、「第7回 伊佐チャリティ音楽祭」が開催されました。このイベントは、大口ロータリークラブ様、国際ソロプチミスト大口伊佐様、大口ロータリーアクトクラブ様、大口インターアクトクラブ様の4団体による開催となりました。150名を超える各団体の出演者の協力のもと、吹奏楽・合唱・現代版組踊りと太鼓まで披露され、若さと情熱あふれる息の合った姿に感動し、たくさんの元気をいただきました。会場には募金箱が設置され、参加した多くの方からご支援をいただきました。



3月24日 続・絆カフェ交流会 様

特別養護老人ホームオード・エクラを会場に、地域ボランティア「絆プロジェクト ほへみ」様が主催する「続・絆カフェ交流会」が開催されました。絆プロジェクト・ほへみ様は地域の皆さんが中心となって、震災復興支援をしようと2012年から活動を行っており、いつもJETOみやぎをご支援頂いております。『震災を忘れない』、『防災・減災に取り組む』、『震災孤児の支援を続ける』、『共に生きる』ことを再確認できる場所を目指して、この交流会を続けておられます。今回は「絆・ひまわりの会」様による民謡の披露や、仙台フィル・ヴァイオリン奏者の長谷川康さんとピアニストの工藤明日香さんによる素敵な演奏で皆さん大変盛り上がりておりました。また、東松島市で活動している任意団体「写真で伝える被災地」様より中村綾子さんと千葉輝輝さんを迎え、震災当時の活動や全国に被災地の現状を発信している取り組みについてお話をいただきました。



4月3日 株式会社久保田ホールディングス 様

株式会社久保田ホールディングス様では、仙台キリンビバレッジサービス株式会社様が提案している、JETOみやぎチャリティ自動販売機を設置いただいております。その売り上げの一部をご寄附いただいております。株式会社久保田ホールディングス様、仙台キリンビバレッジサービス株式会社様同席のもと贈呈式を執行いたします。



4月11日 株式会社オレンジライフ 様

3月11日、和歌山県にごいます、フューネラル保田を会場に、株式会社オレンジライフ様主催のチャリティーイベント「防災フェスティバル～残された子ども達に「絆」を繋ぐ～Part2」が開催されました。ボランティアキッズによる屋台村や、災害時の実演講座やバンド演奏などの各種ステージイベント、防災グッズの展示など、たくさんのお客様の中で、JETOみやぎの案内ブースも設置していただきました。当日はたくさんの方々に越しいただき、大変盛り上がりイベントとなりました。こちらのイベントは今年で7年目となり、収益金を毎年JETOみやぎにご支援いただいております。株式会社オレンジライフ様では、ボランティア精神の育成と東南海地震に備え危機意識を持って頂くためのイベントとして毎年企画開催されています。



4月17日 国分町街づくりプロジェクト 様

3月10日、国分町にごいます。元銀造丁公園を会場に、国分町街づくりプロジェクト様主催による、「キャンドル in 国分町」が開催されました。参加費として一口500円で紙コップを購入し、外側にメッセージを書き、中にキャンドルを灯しステージに飾るというものです。鎮魂と追悼の想いをキャンドルに込めて火を灯し、元銀造丁公園はたくさんの方々にキャンドルで埋め尽くされました。イベントでの収益金をJETOみやぎにご寄附いただきました。

